

記者資料提供（2024年2月21日）

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）大原、大泉

TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 E-mail | info@kiito.jp



KIITO: 「住みたい社会のつくりかた ー働くということを超えて」

第4回 地域課題解決+クリエイティブトーク開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりトークイベントを開催いたします。

KIITO:300
FARM

第4回 地域課題解決+クリエイティブトーク
「住みたい社会のつくりかた ー働くということを超えて」

日時 | 3月12日（火）19:00-20:30
会場 | KIITO:300
ゲスト | 奥尚子（神戸アジア食堂バルSALA）
望月優大（ライター、『ニッポン複雑紀行』編集長）

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）では、社会貢献活動、地域活動を支援する「KIITO:300 ファーム」の取り組みとして、第4回「地域課題解決+クリエイティブトーク」を開催します。

多様な人々が共に暮らす地域社会には様々な課題が存在し、その課題への働きかけとして事業を起ちあげる人がいます。

課題に対して働きかけることで、住みたいと思える地域や社会をつくるにはどうすればよいのでしょうか。第4回では、飲食を通して、主にアジア出身の女性の社会との接点をつくる取り組みを行っている神戸アジア食堂バルSALAの代表である奥尚子さん、多様なルーツを持つ人々が暮らす日本社会の複雑さを伝えるウェブマガジン『ニッポン複雑紀行』の編集長を務める望月優大さんをゲストにお迎えします。お2人が学生の頃に感じた社会に対する問いや違和感が、現在の活動に繋がった経緯に触れながら、個人の問いと社会をアップデートすることの結びつきについてゲストの視点からお話を伺います。また、港町として多様な文化を受け入れ、様々なルーツを持つ人々が暮らしてきた神戸のまちのこれからのあり方について、参加者とともに考えます。

タイトル：第4回 地域課題解決+クリエイティブトーク「住みたい社会のつくりかた ー働くということを超えて」

日時：2024年3月12日（火）19:00～20:30

会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸 3F KIITO:300

ゲスト：奥尚子（神戸アジア食堂バルSALA）

望月優大（ライター、『ニッポン複雑紀行』編集長）

定員：40名程度（事前申込制、先着順）

参加費：無料

申込：2024年2月21日（水）14:00からWebサイト（<https://kiito.jp/schedule/lecture/articles/67535/>）にて申込み受付

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当：大泉 住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4

開館時間 | 9時～21時 休館日 | 月曜（祝日または振替休日の場合はその翌日） WEB | <https://kiito.jp/>

【神戸アジア食堂バルSALAについて】

コンセプトは「Empowerment of all people～全ての人々がエンパワーメントされる社会～」。国籍も関係なく、男性も女性も、子供も妊婦さんも、それぞれがそれぞれのお互いの価値を認め合い、自分の価値も認められる社会のEMPOWERの場、きっかけとなることを願い、飲食事業を中心に就労が困難な滞日アジア人女性の「自分の強みで働ける」雇用の場をより多く創出することを目指している。就労をきっかけに「EMPOWERMENT」され自立した女性たちが自分と同じ境遇にある女性たちを「SALA」というビジネスを通し更に「EMPOWERMENT」する側へとサイクルを拡大させ、堂々と胸を張って日本社会で生活できる滞日アジア人女性を増やすことを目的としている。

【『ニッポン複雑紀行』について】

日本の移民文化・移民事情を伝えるウェブマガジン。認定NPO法人難民支援協会が2017年から運営を開始し、ライターの望月優大が編集長を務める。「ニッポンは複雑だ。複雑でいいし、複雑な方がもっといい。」をコンセプトに、日本各地で暮らす様々なルーツを持つ方たち、地域での支援に関わる人々などへのインタビューを行ってきた。今年、初の書籍化となる『密航のち洗濯——ときどき作家』を刊行（柏書房、2024年）。



奥尚子さんとSALAのみなさん



SALA店内の様子



ウェブマガジン『ニッポン複雑紀行』

【ゲストプロフィール】



奥尚子（神戸アジア食堂バルSALA）

神戸市出身。関西学院大学人間福祉学部社会起業学科在学中に、日本の社会に馴染めないアジア人女性達と料理を通じて交流を深める。卒業後、リクルートライフスタイルで3年間勤務した後、2016年7月「神戸アジア食堂バルSALA」をオープン。「Empowerment of all people」をコンセプトにタイ、台湾、フィリピンなど総勢8カ国のスタッフと共に働いてきた。2022年5月にはセントラルキッチン「SALA cloud」を居留地にオープンし今に至る。

神戸アジア食堂バルSALA：<https://kobe-sala.asia/>



望月優大（ライター、『ニッポン複雑紀行』編集長）

ライター。認定NPO法人難民支援協会が運営するウェブマガジン『ニッポン複雑紀行』の編集長を務める。様々な社会問題に取り組む非営利団体の支援にも携わっている。

近刊に『密航のち洗濯——ときどき作家』（柏書房、2024年、共著）。著書に『ふたつの日本——「移民国家」の建前と現実』（講談社現代新書、2019年）。

『ニッポン複雑紀行』編集長：<https://www.refugee.or.jp/fukuzatsu/#gsc.tab=0>

【KIITO:300ファームとは】

KIITO:
300
ファーム

「KIITO:300 ファーム」は、大学、企業、NPOなどを対象としたプラットフォームです。

社会貢献活動の支援や相談を行う窓口業務、一般の方にも参加いただけるトークイベントやレクチャーなどを実施します。活動を通して、社会との関わりと人々のつながりを広げます。